

[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

御提案書	
技術分野	③ 港湾内の海水の浄化(海水中の放射性物質の除去等)
御提案件名	港湾口二重ゲート設置による港湾内海水浄化システム
御提案者	三菱重工業株式会社
<p>1. 技術等の概要 (特徴、仕様、性能、保有者等)</p> <p>① 特徴</p> <p> 港湾口に船舶往来用ゲートを二重に設け、湾内の水の流出及び湾内汚染魚類等の湾外流出を防止しながら、湾内への船舶の出入りを可能とし、海水浄化設備と地下水流入水の組み合わせで、湾内海水を封じ込めた上で、浄化、淡水化し、最終的には港湾内の魚類の捕獲・排除も可能とする総合湾内海水浄化方法をご提案するものである。本提案の特徴を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港湾口に二重ゲートを設置することにより、湾内汚染魚類及び汚染水の外海への流出を防止しながら、船舶の出入りは可能 ・海水浄化設備と地下水流入水の組み合わせで、湾内海水を封じ込めた上で、浄化、淡水化し、最終的には港湾内の魚類の捕獲・排除が可能 ・海水浄化設備は、海水淡水化設備として実績のある減圧蒸発式を採用する。 <p>② 仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港湾口二重ゲート: 入港時に二重ゲート及び揚水ポンプ等を用いて、港外の海水を汲み出し、港内の水を給水する。出港時はゲート内の港内の水をくみ出し、港外の海水を給水することにより、港湾内汚染水、魚類を遮断する。 <p>③ 性能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海水浄化設備: 200t/d/台 車載型 減圧蒸発方式 	
<p>2. 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発・実用化の状況 (国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む) <ul style="list-style-type: none"> ・河川やダムなどの大型ゲートの納入実績有 ・開発・実用化に向けた課題・留意点 <p>開発課題:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海水浄化設備の放射能除去性能(Cs, Sr)に関する検証 <p>実用化に向けた課題、留意点:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じた海水浄化容量に対応した海水浄化ユニット数の検討 ・海水浄化容量に関して、地下水流入量とのバランス、浄化期間を考慮し最適化が必要 ・津波対策の検討 ・港湾の堤防施設の締切状況の確認、堤防修復・補強工事 ・その他 (特許等を保有している場合の参照情報等) 	